5 ステップ ウインドリペア ワンショットレジン 、1/2ozレジン

J-B Weld Company, LLC

OSHA Hazard Communicaiton Standard 準拠
安全データシート - JIS Z 7253：2019 準拠

発行日: **2022.12.07**
印刷日: **2022.12.07**
S.GHS.JPN.JA

セクション1　化学品及び会社情報

製品に関する情報

製品名	5 ステップ ウインドリペア ワンショットレジン 、1/2ozレジン
化学物質名	該当しない
同義語	
他の製品特定手段	951、919(汎用品番)

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途及び使用上の制限	特に言及されていない

供給者の詳細

供給者の会社名称	**J-B Weld Company, LLC**	**株式会社 隆成コミュニティ**
住所	400 CMH Road Sulphur Springs TX 75482 United States	東京都大田区蒲田4-18-27-801
電話番号	903-885-7696	03-5714-5561
FAX番号	903-885-5911	03-5714-5563
ホームページ	www.jbweld.com	www.ryusei-usa.com
e-メール	info@jbweld.com	info@ryusei-usa.com

緊急連絡電話番号

会社名	株式会社 隆成コミュニティ	
緊急連絡電話番号	03-5714-5562	
その他の緊急連絡電話番号		

セクション2　危険有害性の要約

化学物質又は混合物の分類

分類 [1]	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 区分2A, 発がん性 区分1B, 皮膚腐食性／刺激性 区分2,
凡例:	1. Chemwatchによる分類; 2. 日本 NITE GHS 分類データベースによる分類; 3. EC 規則 1272/2008 - 附属書 VIによる分類

GHSラベル要素

絵表示:	
注意喚起語	**警告**

危険有害性情報

H315	皮膚刺激
H317	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

H319	強い眼刺激を起こすおそれ
H335	呼吸器への刺激のおそれ
H350	発がんのおそれ

注意書き: 安全対策

P201	使用前に取扱説明書を確認すること。
P202	注意を良く読み、理解するまで取り扱わないこと。
P261	ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
P272	汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
P280	保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

注意書き: 応急措置

P302+P352	皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹸）で洗うこと。

注意書き: 保管(貯蔵)

注意書き: 廃棄

P501	内容物/容器を国際、国、都道府県、又は市町村の規則に従って、認可を受けた有害または特別廃棄物処理場に廃棄すること。

セクション3　組成および成分情報

物質

混合物の組成については、以下のセクションを参照してください

混合物

CAS番号	%[重量]	名称	官報公示整理番号		ナノフォーム粒子特性
			化審法	安衛法	
868-77-9	30-60	メタクリル酸2-ヒドロキシエチル	2-1044	-	データ無し
独自配合	10-30	イソボルニル　メタクリエート	-	-	データ無し
110489-05-9	10-30	カプロラクトーン　アクリレート	-	-	データ無し
2495-37-6	10-30	メタクリル酸ベンジル	(3)-1017	-	データ無し
独自配合	1-5	シランカップリング剤	-	-	データ無し
110-16-7	1-5	マレイン酸	2-1100	-	データ無し
独自配合	1-5	有機酸	-	-	データ無し
818-61-1	0.1-1	アクリル酸2-ヒドロキシエチル	(2)-995	公表	データ無し
OSHA Hazard Communication Standard の条項に従い、具体的な化学物質の特定、組成濃度については企業秘密とします。					

セクション4　応急措置

必要な応急措置の説明

眼に入った場合	直ちにきれいな流水で約１５分洗浄すること。 洗眼は、眼球、瞼の隅々まで水がよく行き渡るように行うこと。 速やかに医師の手当てを受けること。痛みが続いたり繰り返す場合は、医師の手当てを受けること。 眼に損傷がある場合、コンタクトレンズの取り外しは、専門家に任せること。
皮膚に付着した場合	直ちに汚染された衣類すべて(履物を含む)を脱がせること。 流水で皮膚および毛髪を洗浄すること。必要に応じて石鹸を使用すること。 炎症がある場合には、医師の手当を受けること。
吸入した場合	ガスや燃焼生成物を吸入した場合、汚染区域から退去すること。患者を寝かせ、体を温めて安静を保つこと。 義歯等の装具は気道を塞ぐおそれがあるため、可能であれば応急措置を施す前に取り外すこと。 呼吸が停止している場合は、デマンドバルブ式人工蘇生器、バッグバルブマスク、ポケットマスクなどを使用して人工呼吸を行うこと。 必要に応じて心肺蘇生を行うこと。 病院または医師のもとへ速やかに搬送すること。
飲み込んだ場合	口を水でゆすぐ。 懸念がある場合には、医師に相談すること。

医師に対する特別な注意事項

対症療法を行うこと。

セクション5　火災時の措置

消化剤

CO2 ドライケミカル、泡

特有の危険有害性

火災の際に避けるべき条件	特になし

消火活動に関する情報

特有の消火方法	特になし
火災及び爆発の危険性	該当なし

セクション6　漏出時の措置

人体に対する注意事項，保護具及び緊急時措置

直ちに換気をする。

環境に対する注意事項

セクション 12 参照

封じ込め及び浄化の方法及び機材

小規模漏出の場合	目をゴーグル等で保護して手袋、安全な服に着替えて行う。
大規模漏出の場合	目をゴーグル等で保護して手袋、安全な服に着替えて行う。

個人用保護具に関する情報については、SDSのセクション8をご参照ください。

セクション7　取扱い及び保管上の注意

安全な取扱のための予防措置

安全取扱注意事項	まずは出来るだけ換気を行う。 吸入を含む、人体へのあらゆるばく露を避けること。 ばく露の可能性がある場合は、保護衣を着用すること。
他の情報	元の容器のまま保管すること。 保管場所では、凍結や大量の湿度等には注意すること。 容器を完全に密封して保管すること。

混触危険性を含む、安全な保管条件

適切な保管条件	直射日光を避け、換気の良い場所にて保管
避けるべき保管条件	特になし

セクション8　ばく露防止及び保護措置

管理パラメーター

制限値のある物質のみ以下の表にまとめました。

■職業暴露限界値：該当なし

国(法的根拠)	CAS	物質名	許容濃度
データ無し			

■ばく露管理

適切な工学的管理方法	ヒトへの発がん性が認められた物質に暴露する作業員は、雇用者の指示の元で作業し、 規制区域内で作業を行うこと。 「グローブボックス」等の隔離システム内で作業を行うこと。 作業完了時および隔離システム外での作業開始前に、手と腕を洗うこと。
個人保護措置	
眼/顔面の保護	サイドシールド付きの保護メガネ。ケミカルゴーグル。
皮膚の保護	以下の手の保護具を参照してください。
手/足の保護	**注記:** 人によっては何らかの皮膚刺激を生じることがある。手袋および他の保護具を脱ぐ際には、あらゆる皮膚接触を避けるよう細心の注意を払うこと。靴・ベルト・時計バンドなどの革製品に汚染物が付着した際は、脱ぎ捨て（または取り外し）廃棄すること。
身体の保護	化学用保護手袋（ニトリルゴムまたはニトリルブタトルエーネゴム製）、安全長靴およびエプロンを着用すること。
他の保護	

セクション9　物理的及び化学的性質

物理的および化学的性質に関する基本情報

外観	透明な液体		
物理的状態	液体	**比重 (水 = 1)**	データ無し
臭い	データ無し	**n-オクタノール/水 分配係数**	データ無し
臭気閾値	データ無し	**自然発火温度 (°C)**	データ無し
pH (製品)	データ無し	**熱分解温度**	データ無し
融点 / 凝固点 (°C)	データ無し	**粘度 (cSt)**	データ無し
沸点/沸騰範囲(°C)	データ無し	**分子量 (g/mol)**	データ無し
引火点 (°C)	101℃	**味**	データ無し
蒸発速度	データ無し	**爆発性**	データ無し
引火性	データ無し	**酸化作用**	データ無し
爆発範囲-上限(%)	データ無し	**表面張力 (dyn/cm ormN/m)**	データ無し
爆発範囲-下限(%)	データ無し	**揮発成分 (%vol)**	データ無し
蒸気圧 (kPa)	データ無し	**ガスグループ**	データ無し
水溶解性	データ無し	**溶液のpH (1%)**	データ無し
蒸気密度 (大気 = 1)	データ無し	**VOC g/L**	データ無し
ナノフォーム溶解度		**ナノフォーム粒子特性**	
粒子サイズ			

セクション10　安定性及び反応性

反応性	通常の状態では安定している
化学的安定性	製品は安定しており、危険な重合反応は起こらないと考えられる。
危険有害反応可能性	なし
避けるべき条件	なし
混触危険物質	なし
危険有害な分解生成物	なし

セクション11　有害性情報

毒物学的影響に関する情報

吸入した場合	データ無し
飲み込んだ場合	データ無し
皮膚に付着した場合	皮膚に接触した場合、皮膚炎を引き起こす可能性がある。皮膚疾患がある場合、症状を悪化させることがある。 皮膚接触により、(EC指令の分類に基づく) 有害な健康影響を及ぼす物質とは考えられていない; 外傷、病変部または擦り傷を通じて体内に侵入すると、健康被害を引き起こすことがある。 炭化水素へのばく露は、不整脈を引き起こすことがある。中度の毒性が生じると、めまい、頭痛、吐き気が生じることがある。重度の毒性が生じると、肺機能が低下し、意識喪失または死に至ることがある。炭素数C4の炭化水素は、特に神経系に有害である。 石油ガス（オレフィン不純物含有）の吸入は、眠気を誘発することがある。酸素濃度減少により、呼吸不全、精神障害、協調運動障害、思考力低下、吐き気および嘔吐を伴う重度のチアノーゼおよび窒息が生じることがあり、意識喪失および死に至ることがある。 開放創、擦り傷または炎症がある場合は、皮膚への接触を避けること。 切創、擦り傷または病変部などを通じて血流に侵入すると、悪影響を及ぼす全身性疾患を引き起こすことがある。使用前に皮膚を検査し、あらゆる外傷を適切に保護しておくこと。
眼に入った場合	本物質が、相当数の人の眼に刺激を引き起こす可能性、および/または実験動物への点眼後、24時間以上も見られる重大な眼病変を生じる可能性があることを示唆する証拠がある、またはこれらのことが実際的経験により予見される。 反復または長期的な眼との接触により、結膜の一時的な発赤 (風傷に似ている) (結膜炎) を特徴とする炎症を引き起こすことがある; 一時的な視覚障害や他の一時的な眼障害/潰瘍が発生することがある。
慢性毒性	データ無し

メタクリル酸2-ヒドロキシエチル	**毒性**	**刺激性**
	飲み込み Rat 5050 mg/kg	皮膚 Rabbit 3000 mg/kg
イソボルニル　メタクリエート	**毒性**	**刺激性**
	飲み込み Rat 2400 mg/kg	皮膚 Rabbit 3000 mg/kg
シランカップリング剤	**毒性**	**刺激性**
	飲み込み Rat 5000 mg/kg	データ無し
マレイン酸	**毒性**	**刺激性**
	飲み込み Rat 708 mg/kg　皮膚 Rabbit 1560 mg/kg	吸入 Rat 720 mg/m3 1hr
有機酸	**毒性**	**刺激性**
	飲み込み Rat 2969 mg/kg	データ無し
アクリル酸2-ヒドロキシエチル	**毒性**	**刺激性**
	飲み込み Rat 540 mg/kg	皮膚 Rabbit 1010 mg/kg

内分泌かく乱特性

多くの化学物質は、内分泌系として知られる、人体のホルモンを模倣したり阻害したりすることがある。内分泌かく乱物質は、内分泌 (またはホルモン) 系を阻害する可能性のある化学物質である。 内分泌かく乱化学物質は、体内で自然分泌されるホルモンの合成、分泌、輸送、結合、作用、または分解・排泄を阻害する。ホルモンによって制御されている体内のシステムは、内分泌かく乱化学物質によって狂わされることがある。具体的には、内分泌かく乱化学物質は、学習障害の発生、さまざまながんおよび性的発達障害などの身体形態異常に関係している可能性がある。 内分泌かく乱化学物質は動物に悪影響を及ぼす。しかし、人体への潜在的な健康影響については、限定的な科学的情報しか得られていない。人類は通常、一度に複数の内分泌かく乱化学物質にばく露しており、公衆衛生への影響を評価することが困難であるためである。

急性毒性	×	**発がん性**	✓
皮膚腐食性／刺激性	✓	**生殖毒性**	×
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	✓	**特定標的臓器毒性（単回ばく露）**	×
呼吸器感作性又は皮膚感作性	✓	**特定標的臓器毒性（反復ばく露）**	×
生殖細胞変異原性	×	**誤えん有害性**	×
		凡例:	× － データ利用不可または、区分に該当しない ✓ － 分類済み

セクション12　環境影響情報

急性(短期)毒性：分類基準未満

データ無し	**エンドポイント**	**試験期間 (時間)**	**種**	**値**	**出典**

慢性(長期)毒性：分類基準未満

メタクリル酸2-ヒドロキシエチル	**エンドポイント**	**試験期間 (時間)**	**種**	**値**	**出典**
	LC50	96h	Pimephales promeles	227 mg/L	データ無し
	EC50	48h	Daphnia magna	>380 mg/L	データ無し
イソボルニル　メタクリエート	**エンドポイント**	**試験期間 (時間)**	**種**	**値**	**出典**
	LC50	96h	Danio rerio	1.8 mg/L	データ無し
	NOEC	96h	Danio rerio	1.0 mg/L	データ無し
	EC50	48h	Daphnia magna	1.1 mg/L	データ無し
メタクリル酸ベンジル	**エンドポイント**	**試験期間 (時間)**	**種**	**値**	**出典**
	LD50	96h	Pimephales promeles	4.25-5.13 mg/L	データ無し
シランカップリング剤	**エンドポイント**	**試験期間 (時間)**	**種**	**値**	**出典**
	EC50	72h	Scenedesmus subspicatus	>536mg/L	データ無し
	LC50	96h	Brachydanio rerio	1024 mg/L	データ無し
	EC50	48h	Daphnia magna	>876 mg/L	データ無し
マレイン酸	**エンドポイント**	**試験期間 (時間)**	**種**	**値**	**出典**
	LC50	96h	Pimephales promeles	5 mg/L	データ無し
	EC50	48h	Daphnia magna	250-400	データ無し
有機酸	**エンドポイント**	**試験期間 (時間)**	**種**	**値**	**出典**
	EC50	72h	Scenedesmus subspicatus	47 mg/L	データ無し
	LC50	24h	Salmo gairdneri	190 mg/L	データ無し
	EC50	48h	Daphnia magna	480 mg/L	データ無し
アクリル酸2-ヒドロキシエチル	**エンドポイント**	**試験期間 (時間)**	**種**	**値**	**出典**
	LC50	96h	Pimephales promeles	4.8 mg/L	データ無し
	EC50	48h	Daphnia magna	0.78 mg/L	データ無し

金属について

大気中運命	金属含有無機物質は一般に蒸気圧が無視できる程度であり、大気中に分配されることは期待されていない。
環境中運命	酸化、酸または塩基の存在、微生物学的プロセスなどの環境プロセスは、不溶性金属をより可溶性のイオン型に転換する可能性がある。 環境プロセスは生物学的利用能を高める可能性があり、溶解度を変える上でも重要である可能性がある。

残留性・分解性

成分	**残留性: 水域/土壌**	**残留性 : 大気**
データ無し		

生体蓄積性

成分	**生物濃縮性**
データ無し	

土壌中の移動性

成分	**移動性**
メタクリル酸2-ヒドロキシエチル	0.47
マレイン酸	-0.79 - 0.32
有機酸	-0.4
アクリル酸2-ヒドロキシエチル	0.21

内分泌かく乱特性

データ無し

セクション13　廃棄上の注意

廃棄方法

製品/容器/包装の廃棄方法	容器は空であっても化学的な危険有害性を有していることがある。 廃棄する場合は廃棄物の処理を管理している都道府県・市町村に問い合わせること。

セクション14　輸送上の注意

要求されるラベル

海洋汚染物質	該当しない

陸上輸送 (ADG): 危険物輸送規制対象外

航空輸送 (ICAO-IATA / DGR): 危険物輸送規制対象外

海上輸送 (IMDG-Code / GGVSee): 危険物輸送規制対象外

MARPOL 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送：該当しない

MARPOL 附属書 V 及び IMSBC コードによるばら積み輸送：該当しない

セクション15　適用法令

物質又は混合物に特有な安全、健康および環境に関する規制：該当なし

セクション16　その他の情報

改訂日	05/18/2021
最初の発行日	08/31/2020

SDSバージョンの概要

バージョン	改訂日	更新されたセクション
2.12.2.1	04/26/2021	規制の変更
2.12.3.1	05/13/2021	規制の変更
2.12.3.1	05/17/2021	分類, 環境, 成分, 品名

他の情報

製品および各成分の分類は、公式かつ信頼性の高い情報源や、参考文献を使用したChemwatch分類委員会独自の評価によるものです。
SDSはハザードコミュニケーションのツールであり、リスクアセスメントの一助として使用されるべきである。 掲載されているハザードが、作業場やその他の環境においてリスクをもたらすか否かは、様々な要素により決定される。 暴露シナリオを参照することにより、リスクが特定されることもある。 使用規模、使用頻度および現行の設備管理も考慮しなければならない。